

自動音声応答（ＩＶＲ）システム導入業務受託候補者選定基準

1 評価項目

項目	評価内容	配点
仕様要件	・仕様書の機能要件が実装されているか。 ・仕様書の非機能要件に対応できているか ・提案内容が機能要件・非機能要件を満たすか分かりやすく説明されているか。	25
管理・操作性	・システム全般が、管理・操作しやすく、分かりやすい画面となっているか。 ・操作等の不明点が生じた場合に、マニュアル・ＱＡ等で即座に確認できるなどの工夫がされているか。 ・音声案内フローの各種設定等が直感的に行えるなど、利用しやすい工夫がされているか。 ・音声案内フローの各種変更（追加、修正、削除）が容易にできるか。 ・ログの確認は、画面で見やすく利用しやすいか。	20
サポート	・導入後・障害発生時等のサポートに関する提案は適切か。 ・サポートの管理体制は確保されているか。 ・マニュアルは充実しているか。	10
情報セキュリティ	・情報セキュリティに対する取組が確立されているか。 ・守秘義務の遵守に係る対応が検討されているか。 ・危機管理、リスクマネジメントを踏まえて検討されているか。	10
市内中小企業	・京都市公契約基本条例第2条第1項第3号に規定される市内中小企業であるか。	5
類似業務実績	・類似業務の実績は十分か。	10
見積金額	【計算方法】 20点×（申請団体のうち最低価格／評価対象価格） ※小数点以下第2位は四捨五入する。	20
合 計		100

2 評価方法

- (1) 選定委員会は、「見積金額」を除く各項目についてA～Eの評価を行う。
- (2) 各項目の配点に以下の評価係数を乗じたものを評価点とする。

評価	評価係数	評価内容
A	1. 0	優秀である。 : 高度な能力を有している。
B	0. 8	満足できる。 : 十分な能力を有している。
C	0. 5	平均的である。
D	0. 3	物足りなさを感じる。 : 能力が乏しい。
E	0. 1	満足できない。 : 業務を委託することに不安がある。

- (3) 選定委員会で各委員の点数を合計して、最も高い評価を得た者を受託候補者として選定する。